

学びのデザインシート（本時）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【保健体育科】

1. 対 象 1年生

2. 単元名 「ベースボール型球技 ～Baseball 5～」（全9時間）

3. 単元の目標

知識及び技能	・ 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 ・ 基本的な走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防することができる。
思考力、判断力、表現力等	・ 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
学びに向かう力、人間性等	・ 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどをして、健康・安全に気を配ったりしている。

4. 本時の目標

「なるべく本塁に近い走者をアウトにしたい」「確実にアウトを増やしたい」という守備側の2つのねらいを押さえ、0アウト1・2塁、0アウト1・3塁の場面から始まるミニゲームを行う活動を通して、走者の位置と打球方向に応じたカバーリングの方法を考えることができる。

5. 授業展開

解決したい課題や問い

走者の位置に応じて、カバーリングをどのように工夫したら良いだろう。

考えるための材料

- ・ 導入で0アウト1塁時の注意点を押さえる。
- ・ チームごとに理想的な形を体現するための守備位置の工夫や必要な声掛け、チーム内での決まり事を決める話し合う。
- ・ 0アウト1・2塁、0アウト1・3塁からのゲームの実践をする。
- ・ 「走者の進塁を妨げる守備」と「アウトを増やす守備」の違いや、その場の状況判断についての振り返りを記入する。

想定される活動

- ・ 0アウト1塁時の守り方を確認し、走者を先の塁に進めないこととアウトを増やすことの2つを頭に入れた上での判断が重要であることを理解する。
- ・ 理想的な形で守備を終えるための守備位置、声掛け、決まり事などを考える。
- ・ 走者のスピード、打球のスピードに応じた「判断」が必要な場面も多く想定されるため、チーム内での声掛けに関するルールや状況判断のポイントを決定する。
- ・ 0アウト走者1・2塁、0アウト走者1・3塁時からのゲーム。（2アウト獲得で攻守交代）
- ・ 「走者の進塁を妨げること」と「アウトを増やすこと」の視点から、守備時に意識したことに関する振り返りを記入。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- ・ チームごとに対話を行い（2分）、理想的な形を全体で共有する（3分）。
「3塁でフォースアウトを取るのが理想です。理由は得点されにくくなるからです。」
「3塁で1アウトとった後に、2塁に投げてもう1つアウトを取るのが理想です。でもすごく難しいと思います。」
「3塁でアウトをとった後、1塁に投げて2つめのアウトを取りたいです。でも、投げる距離が長いから心配です。」

- ・自チームの守備位置と、送球する塁を指示する「判断の声」に関するルールを設定する。（10分）
「正面にキャッチとスローが上手な〇〇さんがいた方がいいよね。」
「1塁側に打つことが多くなりそうだから、3塁でアウトを取るためにはスローが上手な××さんが1塁側で、キャッチできる△△さんが3塁にしようよ。」
「もし3塁側に打ってきたらどうするの?」「打球の速さと相手の足の速さが大事になるね」
「3塁が間に合いそうなら声かけるよ。」「最初から1塁で1アウト取ればで良くない?」
- ・毎イニング0アウト1・2塁、0アウト1・3塁から開始するゲームを行う。（25分）
「3塁側に来たら、迷わず1塁に投げよう。」
「相手は打つのが得意な〇〇さんだから、強い打球が来るよ。1塁側でも3塁間に合うかも。」
「間を抜けてしまったら、どこに投げればいいのか分からないな。」
「点差によって、作戦は変わるんじゃないかな?」

※試合中の主に守備時に対話が生まれる。得意な子や理解が早い子ばかりが戦術の中心とならないよう、ベースカバーやバックアップの視点をふまえた助言をする。

※攻撃時にも、守備隊形を見て打つ方向や打球の強さを工夫するための対話が生まれる。得意な子からの一方的な指示とならないよう、留意する。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・2塁のランナーを進めるために、1塁側に打つ事が多いから前に1人守っていたほうが良いと思った。
- ・ベースを踏む人と打球を捕る人に役割分担して話し合いが進められた。
- ・相手の打球の強さと方向を見て、すぐに指示が出せる人がいるとうまく守ることができると思う。
- ・3塁側に打たせるために、極端に（1塁側の）前を守る人がいると良いと思った。更に、その人が投げるのも上手だと3塁でアウトが取れると思う。
- ・ホームに返らせないことが一番大切だから、3塁に進まれたとしてもアウトが1つ増えることを優先したほうが良いと思った。
- ・先の塁でアウトにしたいけど、無理に挑戦するよりは打球に近い場所で確実にアウトを増やした方がいと思った。
- ・余計な進塁を防ぐ事が大事だと思う。1つのプレーで1つ以上進まれないようにカバーをしっかりしたい。